

# ロボットプログラミング選手権 2021 近畿・東海・北陸地区大会

## 大阪府立刀根山支援学校 Violet 優勝

全国特別支援学校病弱教育校長会主催の「ロボットプログラミング選手権 2021 近畿・東海・北陸地区大会」が、2021年11月2日(火)に開催されました。今年度は、本校が近畿・東海・北陸地区の事務局になり、地区大会を運営しました。

この大会は、FUJISOFT社のProro(プロロ)というプログラミングロボットを使い、40cmの土俵の上でロボット相撲を行う大会です。(詳細は[こちら](#))



本大会の参加校は、9校16チームでした。各チーム3名以内のチームを作ります。刀根山支援学校からは、2チーム参加しました。本校教育部からは「Violet(ヴァイオレット)」、訪問教育部からは「仲良しスピード力士チーム」がエントリーしました。この2チームは、大会前からZoomで接続し、互いのプログラムを紹介したり、練習試合をしたりして交流してきました。それぞれ別々の病院で入院生活を送っていますが、この大会を通じて、互いのことを認め合うことができました。「仲良しスピード力士チーム」は残念ながら、1回戦で2020年の全国優勝校である岐阜県立長良特別支援学校に敗退しましたが、初めてのプログラミングは、よい経験になったとはなしていました。



「Violet」のプログラムを考えた2人は、少しでも勝率が上がるようにと何度も何度もプログラムを修正してきました。今までの大会で、先輩たちが作ってきたプログラムと対戦していく中で、プログラムに磨きをかけました。先輩たちや他のチームとは違う、オリジナルのプログラムにこだわり、それぞれが工夫された個性あふれるプログラムになりました。プログラム提出メ切の日の6時限目終了のチャイムが鳴るまで、2人で悩みに悩んで微調整を繰り返した甲斐もあって見事、優勝することができました。

ロボットの動きを考え、考えた通りに動くか、何度も検証する2人。



オンラインでのトーナメント抽選会のようす (抽選会の進行は生徒だけでやりました)



**抽選用プログラム Aブロック**

46	a	h
31	b	.
	c	
	d	
	e	
	f	
	g	

STOP

- 1 大阪府立刀根山支援学校A
- 2 大阪府立羽曳野支援学校A
- 3 京都市立桃陽総合支援学校A
- 4 富山県立ふるさと支援学校
- 5 岐阜県立長良特別支援学校A
- 6 大阪府立光陽支援学校A

背景が合成され  
相手にはこのよう  
に見えています。

抽選ルーレットを  
エクセルでプログ  
ラミングしました。

ロボットプログラミング選  
(病弱教育部門)  
~病室から世界に挑め、未来を創る子ども達~

**開会式**  
近畿・東海・北陸地区

11月2日(火) 試合当日のようす

ルール説明

- 1 取り直しは2回までとする。
- 1 取り直し2回でも勝敗がつかない場合は、向きを逆にする。
- もし、それでも勝敗がつかない時は、引き分けとする。

大阪府立刀根山支援学校B  
Violet  
(う' あいおれっと)

京都市立桃陽総合支援学校B  
ぶんぶんぶん  
(ぶんぶんぶん)

VS

開会式

ルール説明

対戦相手の紹介



手に汗握る試合観戦



負けてしまったとき



勝ったとき

優勝して賞状を受け取り  
くす玉をわりました。

祝 優勝

ロボットプログラミング選手権  
近畿・東海・北陸地区大会  
全国大会出場



全国大会は、令和4年  
2月1日に神奈川県  
立横浜南養護学校で  
行われます。